

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
35201	欧米の文化と社会 Western Culture and Society	加藤 万也	✓	専門	2	選択	1・2後期
<b>科目の概要</b>							
国際化の必要性が叫ばれる現代社会で、本当の意味での「国際化」とはどのようなものであるか、を探究するのが本講義の目的である。そこで、欧州と日本の双方から見て取れる文化的ギャップを見つめることで、生活全般における国際的文化性を考察し、自身の中に根付く文化的価値を発見し、同時に他文化の意義を理解する。★留学での経験を活かし、日常生活のギャップから、時事問題における価値観のズレに至るまで、比較文化論的視点で視野を広げることを目的とする。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
①欧米文化の意義を理解する ②文化的常識の差異を知る ③日本文化の特性を知る				①欧米文化の特徴を理解し、それをレポートにまとめることができる。 ②文化的常識はどこにその根拠があるのかを理解し、発表することができる。 ③日本文化の世界における特性や意義を理解し、発表することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏 み出す 力	主体性	課題の意図を理解し、積極的に分析し、ノートにまとめることができる					
	働きかけ力						
	実行力	文献調査において、重要なことを記録することができる。					
考え抜 く力	課題発見力	課題に対してわからないことを自己判断で遂行せず、質問をすることができる。					
	計画力						
	創造力	クラスメイトの意見や発表を参考にして、自分なりの考えを持って発表や記述をすることができる。					
チーム で働く 力	発信力	自分の分析のポイントを理解し、それを発表することができる。					
	傾聴力	課題の意図を理解するために、注視して説明を聞くことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	期限を守り、しっかりとした発表をすることができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：毎回の授業内で、適宜提示します。 参考文献：なし							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：なし 資格との関連：なし							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
身の回りのいろいろな文化に関連する問題に対して積極的に興味を持ち、文化の意義などについて関心を持つことが重要です。また、授業では規律性を守り、真摯な気持ちで受講してください。				授業開始後の無断入退室は禁止です。 楽しく受講することは良いですが、私語が甚だしい場合は退室していただくこともあります。授業に集中してください。 スマートフォンなどを用いて授業資料をその場で収集するなどの方法をとりますが、目的以外のことで使用していた場合は退席していただきます。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験		①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	20	①	✓	国際文化に関する様々な問題について理解できる。	
				②	✓		
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	20		①	✓	国際文化に関する様々な問題について分析できる。
					②	✓	
					③		
					④		
					⑤		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	50		①	✓	国際文化に関する様々な問題について、分析をし、その特徴や解決方法を発表することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 課題の意図を理解し、積極的に分析することができる。 (実行力) 文献調査において、重要なことを記録することができる。 (課題発見力) 課題に対してわからないことを自己判断で遂行せず、質問をすることができる。 (創造力) クラスメイトの作品や参考作品を参照して、自分なりの考えを持つことができる。 (発信力) 自分の分析のポイントを理解し、それを発表することができる。 (傾聴力) 課題の意図を理解するために、注視して説明を聞くことができる。 (規律性) 期限を守り、しっかりとした発表をすることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①国際的な諸問題を理解した上で、自分独自のアイデアを盛り込み、解決方法を分析することができる。 ②発表において、自分の考えを伝わりやすく述べるができる。 上記をA(優)とし、それ以上の成果が見られる場合にS(秀)とする。	左欄のA評価ほどの到達がないとしても、自分なりに精一杯頑張った分析をし、発表することができた場合B評価とする。  上記B評価よりも成果が見られない場合C評価とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	<オリエンテーション> ・受講ルールの説明 ・社会人基礎力のチェック ・授業についての説明	講義  小テスト ワークシートへの本授業のまとめの記入しフィードバックする	受講ルールを理解でき、第1課題についてレポートをまとめることができる。 (レポート提出)	(予習) 社会人基礎力について理解しておく (復習) 文化に関するレポートをまとめる	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2週 /	<イギリス文化1> ・イギリスの日常生活 ・イギリスの教育	講義・発表  小テスト ワークシートへの本授業のまとめの記入しフィードバックする	授業を理解し、小テストで基準点に達することができる。	(予習) イギリスの日常生活を下調べしておく (復習) イギリスの教育や生活についてレポートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	<イギリス文化2> ・イギリス人の発想 ・イギリス人の特性	講義・発表  小テスト ワークシートへの本授業のまとめの記入しフィードバックする	授業を理解し、小テストで基準点に達することができる。	(予習) イギリス人の発想法について下調べしておく (復習) イギリス人の特性についてレポートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	<北欧文化1> ・北欧の日常生活 ・北欧の教育	講義・発表  小テスト ワークシートへの本授業のまとめの記入しフィードバックする	授業を理解し、小テストで基準点に達することができる。	(予習) 北欧の日常生活を下調べしておく (復習) 北欧の教育や生活についてレポートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	<北欧文化2> ・北欧人のセンス ・北欧人の特性	講義・発表  小テスト ワークシートへの本授業のまとめの記入しフィードバックする	授業を理解し、小テストで基準点に達することができる。	(予習) 北欧人の発想法について下調べしておく (復習) 北欧人の特性についてレポートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	<アメリカ文化1> ・アメリカの日常生活 ・アメリカの教育	講義・発表  小テスト ワークシートへの本授業のまとめの記入しフィードバックする	授業を理解し、小テストで基準点に達することができる。	(予習) アメリカの日常生活を下調べしておく (復習) アメリカの教育や生活についてレポートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	<アメリカ文化2> ・アメリカ人の発想 ・アメリカ人の特性	講義・発表  小テスト ワークシートへの本授業のまとめの記入しフィードバックする	授業を理解し、小テストで基準点に達することができる。	(予習) アメリカ人の発想法について下調べしておく (復習) アメリカ人の特性についてレポートをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	<日本文化1> ・外国人から見た日本の日常生活 ・外国人から見た日本の教育の特徴	講義・発表  小テスト ワークシートへの本授業のまとめの記入しフィードバックする	授業を理解し、小テストで基準点に達することができる。	(予習) 外国人の日本レポートに目を通しておく (復習) 外国人が感じる日本の奇妙な点についてレポートにまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	<日本文化2> ・外国人から見た日本人のセンス ・外国人から見た日本の特性	講義・発表  小テスト ワークシートへの本授業のまとめの記入しフィードバックする	授業を理解し、小テストで基準点に達することができる。	(予習) 外国人の日本レポートに目を通しておく (復習) 外国人が感じる日本の奇妙な点についてレポートにまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	<国際文化の発表1> テーマを設定して、グループで発表をする	発表  聴講ワークシートの記入によってフィードバックする	グループでのプレゼンテーションで、自分の役割をもって発表できる。	(予習) グループでの発表に向けたプレゼン資料を作成する (復習) 発表を傾聴し、その内容をレポートとしてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	<国際文化の発表2> テーマを設定して、グループで発表をする	発表  聴講ワークシートの記入によってフィードバックする	グループでのプレゼンテーションで、自分の役割をもって発表できる。	(予習) グループでの発表に向けたプレゼン資料を作成する (復習) 発表を傾聴し、その内容をレポートとしてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	<国際文化の発表3> テーマを設定して、グループで発表をする	発表  聴講ワークシートの記入によってフィードバックする	グループでのプレゼンテーションで、自分の役割をもって発表できる。	(予習) グループでの発表に向けたプレゼン資料を作成する (復習) 発表を傾聴し、その内容をレポートとしてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	<国際文化の発表4> テーマを設定して、グループで発表をする	発表  聴講ワークシートの記入によってフィードバックする	グループでのプレゼンテーションで、自分の役割をもって発表できる。	(予習) グループでの発表に向けたプレゼン資料を作成する (復習) 発表を傾聴し、その内容をレポートとしてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	<国際文化の発表5> テーマを設定して、グループで発表をする	発表  聴講ワークシートの記入によってフィードバックする	グループでのプレゼンテーションで、自分の役割をもって発表できる。	(予習) グループでの発表に向けたプレゼン資料を作成する (復習) 発表を傾聴し、その内容をレポートとしてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	<国際文化の発表6> テーマを設定して、グループで発表をする	発表  聴講ワークシートの記入によってフィードバックする	グループでのプレゼンテーションで、自分の役割をもって発表できる。	(予習) グループでの発表に向けたプレゼン資料を作成する (復習) 発表を傾聴し、その内容をレポートとしてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力